

令和2年3月 浜田市議会定例会議

令和2年度

浜田市公共下水道事業会計当初予算説明資料



【国府浄化センター】

浜田市上下水道部

目 次

令和2年度 浜田市公共下水道事業会計当初予算説明資料

1. 令和2年度予算編成の基本方針	1
2. 令和2年度予算の編成概要	1
3. 主要事業の状況	7
4. 収支の状況	8
5. 公共下水道事業費用の構成	9
6. 公共下水道事業職員数	9
7. 収支の概要	10

1 令和 2 年度予算編成の基本方針

浜田市公共下水道事業は令和 2 年度から地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計に移行する。

令和 2 年度予算編成において、下水道使用料については、人口の減少による影響を考慮し、減収を見込むが、中国電力三隅発電所 2 号機の建設工事関係者の増による汚水処理量の増加を見込んで予算計上する。

また、建設改良事業として浜田処理区整備事業、三隅地方地区農集・福浦地区漁集の公共下水道への統合事業、ストックマネジメント改築事業、公共ます設置事業、旭浄化センター汚泥処理施設改築事業に要する支出を予算計上し、整備事業の実施による安定した経営の推進、計画的な改築事業の実施により持続可能な下水道事業経営を目指す。

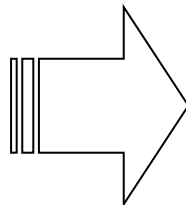
(令和 2 年度予算編成 基本方針)

1) 整備事業の実施による
安定した経営の推進

2) 計画的な改築事業の実施

3) 適切な維持管理による
安定した事業の推進

4) 経費節減による経営健全化
の推進



『持続可能な下水道事業経営』

2 令和 2 年度予算の編成概要

令和 2 年度予算は、次の点に留意して編成を行った。

1. 主な留意項目等

(1) 下水道使用料収入の見込みについて

人口減少の影響による下水道使用料の減収を見込むが、令和 2 年度においては、中国電力

三隅発電所 2 号機の建設工事関係者の増による汚水処理量の増加を見込んで予算編成を行う。

(2) 維持管理費等の経費の積算について

維持管理費等の諸経費については、いずれの処理区も供用開始後 14 年以上が経過し、修繕にかかる経費が多くなっている。また、処理場の稼働には多くの動力費がかかるため、これら経費に係る消費税の増税分を見込む。また、中国電力三隅発電所 2 号機の建設工事関係者の増に伴い汚水処理量の増加が見込まれるため、三保三隅浄化センターの休止している処理系統を稼働させる必要があり、これに伴う経費の増を予算に計上する。

前年度実績をベースに増減要因を反映させ、予算編成を行う。

(3) 建設改良事業について

建設改良事業については、市街地(浜田処理区)への下水道整備事業の予算を計上する。

また、安定した下水道事業を行っていくため、老朽化した設備に対し計画的に改築を行う予算を計上する。

三保三隅処理区においては、三隅地方地区農集、福浦地区漁集を接続することにより、より効率的な汚水処理を行うため統合事業として予算を計上する。

(4) 公営企業会計への移行について

官庁会計から公営企業会計への移行により、減価償却費や各種引当金、移行の影響による特別損失等、企業会計特有の経費を計上することとなる。一般会計繰入金の増加を抑制するため、資本的収支不足額に補填財源を活用した予算編成を行う。

2. 予算数値の概要

(1) 収益的収支（税込み）について（予算説明資料 P10・P11 参照）

経営上、収入の基盤となる下水道使用料について、92,376 千円（税込）を見込む。

営業外収益も含めた総収益においては 524,021 千円（税込）を見込む。

下水道使用料以外の主な収益としては、一般会計からの補助金（減価償却費及び資産減耗費にかかる補助分、運営に対する補助分）、非現金収入としての長期前受金戻入（減価償却費に見合う財源の収益化）等がある。

費用の総額は 525,709 千円（税込）を見込む。これは、下水道施設の維持管理に要する費用、減価償却費、企業債に要する支払利息、下水道使用料の調定、集金及び検針等に要する費用を計上している。

(2) 資本的収支（税込み）について（予算説明資料 P12・P13 参照）

資本的収支は、収入総額 500,222 千円（税込）を見込む。これは、国庫補助金、建設改良事業に充てるための企業債、一般会計からの出資金によるものである。

支出総額は663,402千円（税込）を見込む。これは、建設改良費として浜田処理区整備事業、三隅地方地区農集・福浦地区漁集の公共下水道への統合事業、ストックマネジメント改築事業、公共ます設置事業、旭浄化センター汚泥処理施設改築事業に要する支出を予算計上している。また、企業債償還元金についても、予算計上している。

資本的収支不足額163,180千円は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんする。

(3) 財政状態（資産・負債・資本）について（別紙：令和2年度当初予算書P11・P12参照）

【令和2年度予定貸借対照表残高】

・総資産	74.6 億円	・負債＋資本	74.6 億円
内、固定資産	74.2 億円	負債	69.8 億円
内、現金預金等	0.4 億円	内、長期前受金	29.3 億円
		資本	4.8 億円

① 資産の状況

令和2年度末の資産総額は7,457,896千円で、予定開始貸借対照表と比較して、取得する資産よりも減価償却額の方が多いため、7,667千円の減少（0.1%減）となる。令和2年度末の現金預金は25,482千円で、令和2年度当初予定額に対して25,482千円の増加となる見込みである。

② 負債及び資本の状況

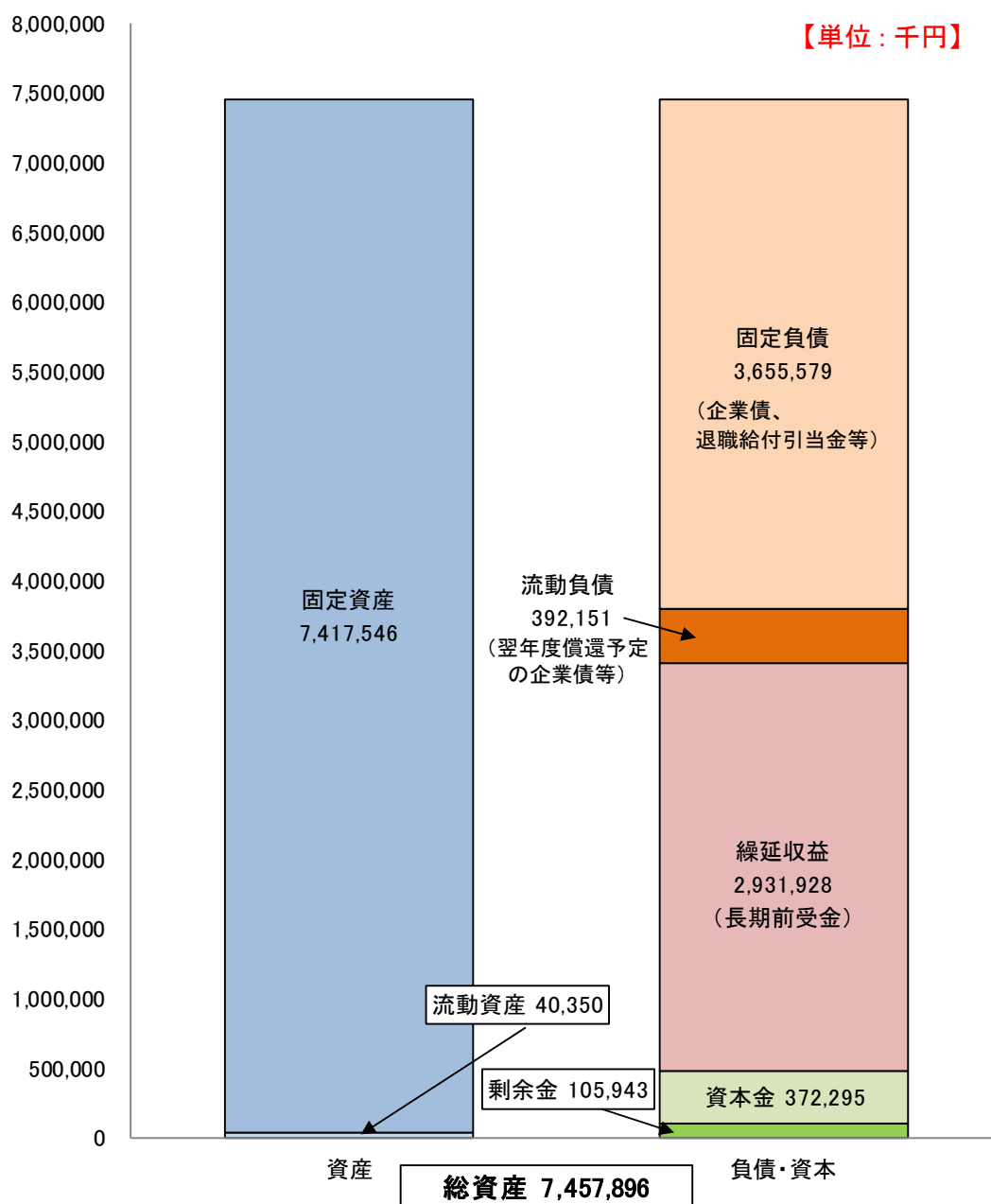
負債の部は6,979,658千円となり、予定開始貸借対照表と比較して、企業債の借入額よりも返済額が多いため、149,287千円の減少（2.1%減）となる。

このうち、償却資産の取得に伴い交付される自己財源以外の補助金等を繰延収益として計上している長期前受金は2,931,928千円を見込んでいる。

なお、資本の合計は478,238千円となり、予定開始貸借対照表と比較して、一般会計からの出資金や当年度末処分利益剰余金により141,620千円の増加（42.1%増）となる。

■財政状態（予定貸借対照表）

令和 2 年度予定貸借対照表
(令和 3 年 3 月 31 日)



(4) 予定損益計算書について（別紙：令和2年度当初予算書 P13 参照）

【令和2年度予定損益計算書】（税抜）

・営業収益	84,958 千円
・営業損失	△363,127 千円
・経常利益	12,235 千円
・当年度純利益	98 千円

令和2年度予定損益計算書（税抜）において、下水道使用料収入は、83,981 千円を見込んでいる。

営業費用は 448,085 千円となる。非現金支出である減価償却費が会計上の営業費用として計上されるため、営業収支は 363,127 千円の赤字を見込んでいる。

営業外収支は、支払利息、雑支出等の費用を上回る他会計補助金、長期前受金戻入等の収益によって、375,362 千円のプラスとなるため、経常利益は 12,235 千円を見込む。

過年度損益修正損等の特別損失のほか予備費を計上することにより、令和2年度の純利益は 98 千円を見込んでいる。

(5) 予定キャッシュ・フロー（資金状況）について（別紙：令和2年度当初予算書 P15 参照）

令和2年度のキャッシュ・フローの概要は以下のとおりである。

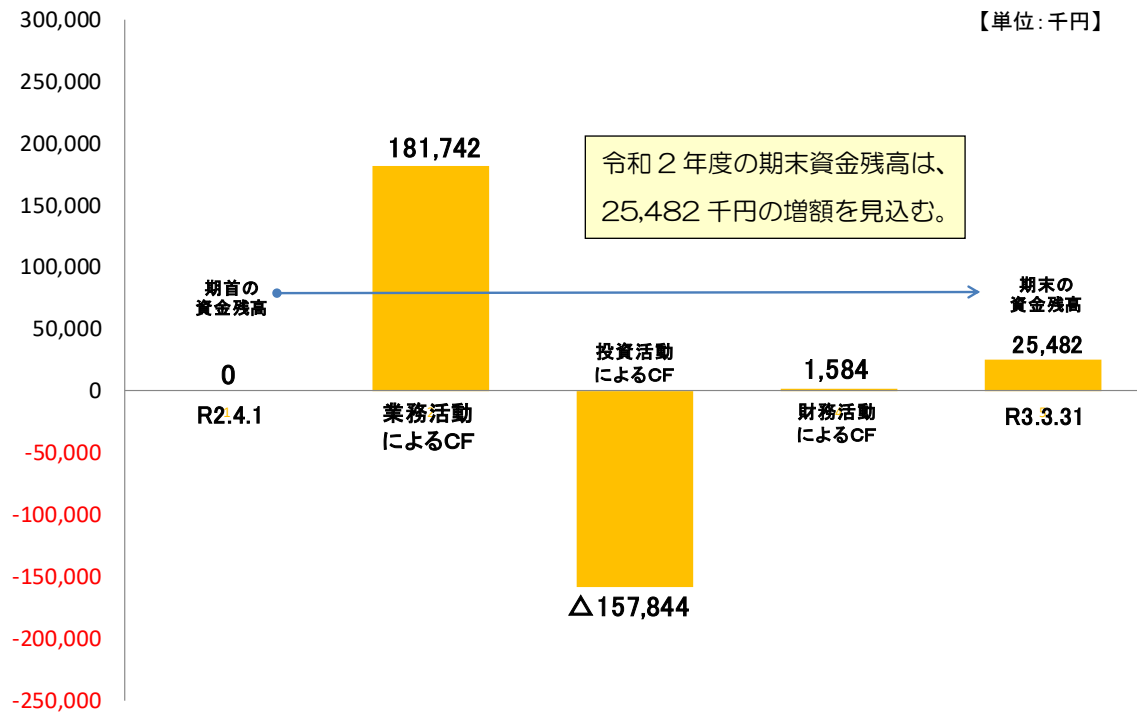
【令和2年度予定キャッシュ・フロー計算書】

・業務活動による CF	181,742 千円
・投資活動による CF	△157,844 千円
・財務活動による CF	1,584 千円
・資金増加額	25,482 千円
・資金期首残高	0 千円
・資金期末残高	25,482 千円

令和2年度予定キャッシュ・フロー計算書において、業務活動によるキャッシュ・フローは 181,742 千円の黒字、投資活動によるキャッシュ・フローは 157,844 千円の赤字、財務活動によるキャッシュ・フローは 1,584 千円の黒字を見込む。

その結果、令和2年度末の資金残高は、25,482 千円となる見込みである。

令和 2 年度予定キャッシュ・フロー計算書



3. 主要事業の状況

「持続可能な下水道事業経営」を推進していくため、浜田処理区整備事業、ストックマネジメント改築事業、三隅地方地区農集・福浦地区漁集の公共下水道への統合事業、旭浄化センター汚泥処理施設改築事業等を実施する。

(1) 浜田処理区整備事業

- 基本設計業務委託

浜田処理区の管路に係る基本設計業務委託を行う。

- 移転補償費

処理場用地の取得に係る移転補償費を計上する。

(2) スtockマネジメント改築事業

- 工事請負費

ストックマネジメント計画に基づき、国府真空式下水システムや旭処理区、三隅処理区のマンホールポンプや処理場機器の改築を行う。

(3) 三隅地方地区農集・福浦地区漁集の公共下水道への統合事業

- 工事請負費

地方地区農業集落排水処理施設と三保三隅地区公共下水道を接続するために管渠工事を行う。

- 委託料

福浦地区漁業集落排水処理施設と三保三隅地区公共下水道を接続するための設計業務委託を行う。

(4) 旭浄化センター汚泥処理施設改築事業

- 委託料

旭浄化センター汚泥処理施設改築に係る設計業務委託を行う。

4. 収支の状況

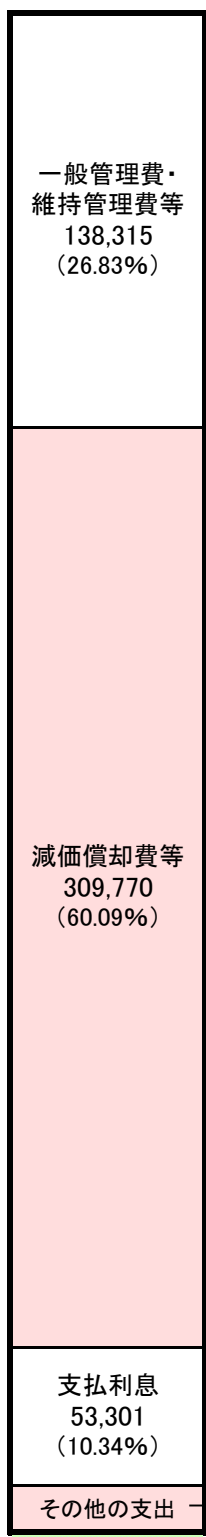
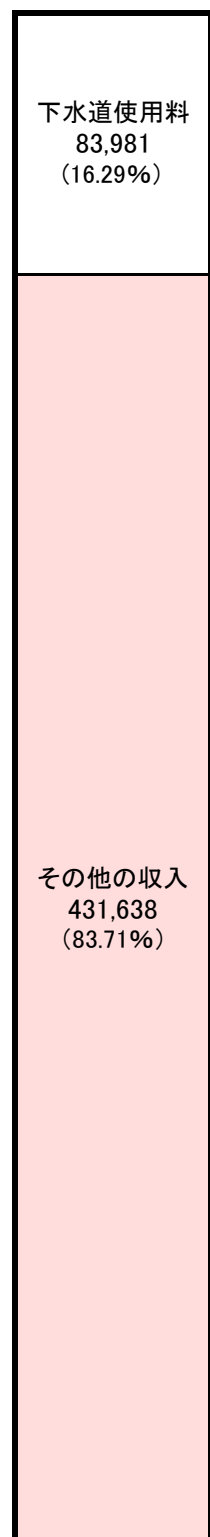
◆収益的収支

(事業、施設の管理に関する収支)

単位：千円（税抜き）

収入 515,619

支出 515,521



その他の支出 14,135 (2.74%)
 純利益 98

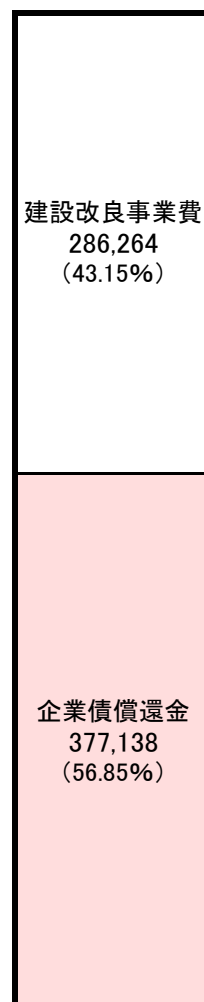
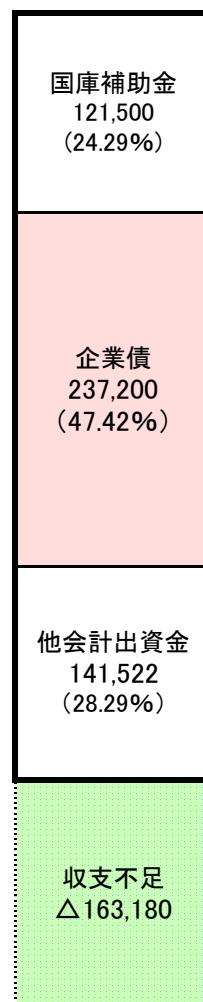
◆資本的収支

(施設の建設・改良などに関する収支)

単位：千円（税込み）

収入 500,222

支出 663,402



【収益的収支】

収入515,619千円、支出515,521千円のため、当年度純利益は98千円となる。

その他の支出は、営業外費用の雑支出1千円、消費税及び地方消費税1,997千円、特別損失11,837千円、予備費300千円の合計としている。

【資本的収支】

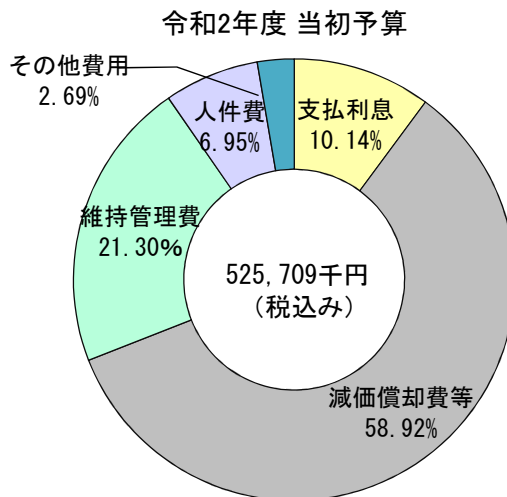
収入500,222千円、支出663,402千円のため、163,180千円の収支不足が発生するが、この不足分については、減価償却費等の現金支出を伴わない費用などの内部留保資金で補てんする。

※構成比は、四捨五入のため一致しない場合があります。

5. 公共下水道事業費用の構成

令和2年度の公共下水道事業費用として、525,709千円(税込み)を見込んでいる。

構成の内訳としては、人件費6.95%、支払利息10.14%、減価償却費等58.92%、維持管理費21.30%、その他費用2.69%となっており、減価償却費等と維持管理費で全体の80%を占めている。



※構成比は、四捨五入のため一致しない場合があります。

6. 公共下水道事業職員数

公共下水道事業の職員数について、事業全般、使用料の賦課徴収に係る職員2名、維持管理に係る職員2名、建設改良事業に係る職員2名の6名としている。

公共下水道事業職員数

(単位:人)

	令和2年度
年度末職員数	6

7. 収支の概要

1. 収益的収入

524,021千円

(単位:千円・税込み)

整理 番号	収入項目及び収入概要	収入予定額
	営業収益	93,360
1	下水道使用料 下水道使用料収入	92,376
2	その他営業収益 下水道使用料、受託工事収益以外で通常発生する収益 ○手数料 ○雑収益 他	984
	営業外収益	430,661
3	受取利息及び配当金 預金利息	1
4	他会計補助金 一般会計補助金 ○減価償却費及び資産減耗費にかかる補助分 181,216千円 ○運営に対する補助分 120,889千円 ※一般会計からの繰出金との差額13,000千円については、公共 下水道事業特別会計時の未収金に係る金額となる。金額確定 後に、市へ返還するものとして預り金として処理する。	302,105
5	長期前受金戻入 減価償却費に見合う財源の収益化額 【財源の内訳】 ○国県補助金 125,578千円 ○受益者負担金 2,976千円	128,554
6	雑収益 営業外で発生する雑収益 ○行政財産使用料	1
	下水道事業収益合計	524,021

2. 収益的支出

525,709千円

(単位:千円・税込み)

整理 番号	事業名及び事業概要	支出予定額
	営業費用	458,268
1	管渠費 管渠に係る設備の維持管理に要する費用 ○動力費 ○施設維持管理委託料 ○施設維持修繕費 他	15,056
2	ポンプ場費 ポンプ場施設に係る設備の維持管理に要する費用 ○動力費 ○施設維持管理委託料 ○施設維持修繕費 他	3,180
3	処理場費 処理場施設に係る設備の維持管理に要する費用 ○職員給与費 2人 ○動力費 ○施設維持管理委託料 ○工事請負費 ○施設維持修繕費 他	91,681
4	業務費 下水道使用料の調定、集金及び検針等に要する費用 ○職員給与費 1人 ○金融機関取扱手数料 ○検針業務委託料 他	15,678
5	総係費 事業活動の全般に要する費用 ○職員給与費 1人 ○退職手当組合負担金 ○退職給付費 ○業務委託料 他	22,903
6	減価償却費 固定資産の減価償却に要する費用	298,770
7	資産減耗費 資産の減耗に要する費用	11,000
	営業外費用	55,299
8	支払利息及び企業債取扱諸費 企業債利息 ○起債利息分 50,807千円 ○一時借入金利息分 2,494千円	53,301
9	雑支出 上記以外の営業外費用 使用料過誤納金にかかる償還金利息	1
10	消費税及び地方消費税 消費税及び地方消費税	1,997
	特別損失	11,842
11	過年度損益修正損 前年度以前の損益の修正で損失の性質を有するもの	53
12	その他特別損失 当年度の経常的費用から除外すべき損失の性質を有するもの ○公共下水道事業特別会計時の賞与等引当金繰入分 ○公共下水道事業特別会計時の消費税及び地方消費税分	11,789
	予備費	300
13	予備費 予備費	300
	下水道事業費用合計	525,709

※営業外費用中、企業債利息の支払に要する経費に充てるため、資本費平準化債27,100千円を借り入れる。

3. 資本的収入

500,222千円

(単位:千円・税込み)

整理 番号	収入項目及び収入概要	収入予定額
	国県補助金	121,500
1	国庫補助金 ○浜田処理区整備事業 70,000千円 ○ストックマネジメント改築事業 16,500千円 ○三隅地方地区農集・福浦地区漁集の公共下水道への統合事業 35,000千円	121,500
	企業債	237,200
2	企業債 建設改良事業に充てるための企業債 ○浜田処理区整備事業 78,400千円 ○ストックマネジメント改築事業 23,100千円 ○三隅地方地区農集・福浦地区漁集の公共下水道への統合事業 39,200千円 ○旭浄化センター汚泥処理施設改築事業 5,000千円 ○公共ます設置事業 10,000千円 ○資本費平準化債 81,500千円	237,200
	他会計出資金	141,522
3	他会計出資金 一般会計出資金 ○建設改良事業にかかる起債償還分	141,522
	資本的収入合計	500,222

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 163,180千円は、当年度分消費税等資本的収支調整額6,916千円及び当年度分損益勘定留保資金156,264千円で補てんするものとする。

4. 資本的支出

663,402千円

(単位:千円・税込み)

整理 番号	事業名及び事業概要	支出予定額
	建設改良費	286,264
1	管渠費 管渠の建設改良等に要する支出 ○職員給与費 1人 ○委託料 ストックマネジメント改築事業 調査業務 三隅地方地区農集・福浦地区漁集の公共下水道への統合事業 測量設計 ○工事請負費 ストックマネジメント改築事業 三隅地方地区農集・福浦地区漁集の公共下水道への統合事業 公共ます設置事業 ○補償費 三隅地方地区農集・福浦地区漁集の公共下水道への統合事業 上水道管支障移転補償費	127,671
2	処理場費 処理場の建設改良等に要する支出 ○職員給与費 2人 (内、会計年度任用職員 1人) ○委託料 ストックマネジメント改築事業 調査業務 旭浄化センター汚泥処理施設改築事業 設計業務 ○工事請負費 ストックマネジメント改築事業 ○補償費 浜田処理区整備事業 移転補償費	158,593
	企業債償還金	377,138
3	企業債償還金 企業債償還元金	377,138
	資本的支出合計	663,402